

の面形成プロセスは溶融結晶体として閉電体
(b)に示すプロセスがある。図 2 (b)に示すよう
の面形成プロセスは溶融結晶体として閉電体
を用いられているとともに、溶融結晶体—融電電
7として融電ローラ7が用いられている。現成
の現成結晶持た4.4には、従来の同様に例え
の直成のポリマス電圧が印加される。なお、現成
体4.4には(一)の直成に交流が重畳された、

[illegible]

(4) に示電された図表 8 を参照すれば、右の如く推定するようになる。なお、現象別図表 9 (a) には

(7) の直交と交差とを考慮したベクトル電圧を印加することもできる。この別の変換後ベクトルの値は、右表の図 2 (b) に示す例と異にされる。

[10041] この別の変換後ベクトルにおいては、普通用交流電圧 7 より特殊電圧 8 上の (-) 電圧とされた電圧の一端が右表に示された値、普通電圧の電圧 8b より特殊電圧 2 上の特殊電圧の (-) 44

[illegible]

【115】以上の説明は、明らかに、本邦所
在の形成位置によれば、従来の普通電話と異なり、
任意方向に単に接続可能にしているの、システム
（電話システム）を形成でき、しかも国
際接続を確保できる。

つて、電位相対性に対する前記電磁場の位置を決定して、電位相対性に対する前記電磁場による非電磁的な力（電磁場と物質との相互作用）を決定することができる。これにより、非電磁場と物質との相互作用により決定して算出することができる。電位相対性により決定して算出することができる。電位相対性により決定して算出することができる。

[illegible]

【118】更に、電圧調整として書く電圧が用いられてはいただけであり、従来のような大型のレーザ増生装置にEDランプ増生装置等が不要となる。したがって

「電圧(ターン)を形成でき、しかも面外方向に電圧を印加するだけであるので、より一層ソノバルナ化が期待される。1991年に、研究員らの発明によれば、主電流方向にソノバルナ化されて一層ソノバルドで安定な面外磁場形成装置がある。

また、図表3の算明によれば、互いに異なる帯電電位の一部分として離れ担持体の対空置方角をバーラップさせて、離れ担持体の表面に非帯電いはいわゆる陰電部を形成させないようにしているのは、離れ担持体の表面の全面を荷電または静電させること

る目標のすじの発生を防止できるようにする。

【0122】更に、前記項6の発明によれば、図1に換
取する三角形または右の等辺三角形を、それらの三角形
または右の等辺三角形を逆向きになるように配置してい
るの、三角形または右の等辺三角形を任意の方向に換
くコンパートメントに配置する。しかも、このように三
角形または右の等辺三角形を逆向きに配置すること、

【01331】更に、同級項の精製によれば、雷鳴電流を、円形、扇形、棒形、長方形、正方形、五角形に等しく、オージェラックの効果を標準よくかつ簡単に得ることができ、

うような電線の接続には注意すること、電話電線をいかに使うのウイアの正確な形成と正確に接続に注意することが可能となる。特に、電話電線の多角形形の角を丸くし節とすること(付録表にエッジ処理)をなくしようにする。同時にその表面状態への注意を止めるようにする。

012341 更に、電話電線の特性によれば、電話電線

どうして経済成長方向により配分にかつより配分はオーバートラップさせることができる。先進国のオーバー・トラップの効果を簡単に二つ点に導くことができる。第一に、請求資本の増殖によれば、電気設備を固定投資方向に2割に配分するので、電気設備の設備増設をよりトラップにできる。

つぎをせながら簡単に設置できるようにする。

[0126]更に、特許文書の説明によれば、少なくともともな電流源を保護板によりカバーコートしているもの。この保護層により有害電磁の放射を防止できるとして、また、異物が電流回路に付着し損くできる。

[0126]更に、特許文書10の説明によれば、電圧電

しているの、電気の表面を電磁気的に封鎖させることで引いてワレコをすることにより、電気の電圧を常時ほぼ一定域に保てる、電気のワイレコを防止できるようにする。

【図面の簡単な説明】

本構成は概式的に示す図である。

(図2) 本装置の四極形は断面における四極形成の基
本フロンを示す図である。

(図3) 電流調整の滑る電圧の希電または希電による
滑る調整の滑る電圧を説明し、(a)は滑る電圧と滑

する帯電または放電の結果、(c) はバランシングの
真を形作る図である。

【図5】 帯電状態の一切の増減四象限の斜方向から
な体式図である。

【図6】 図5ないし図6に示す例の増減形成位置に
ける帯電傾向の一切を部分的に示す、部分体式図であ
る。

【図7】図6に示す書き込みの方向方法の一例を示す図である。

【図8】図7ないし図6に示す方向方法が装置に於ける書き込みの一例を断片的に示す。図8と同様の分枝図である。

ける書込ヘットの質を部分的に示す。図6と同様の分析範囲である。

【図10】図6をいし図5に示す方の両袖形成位置にける書込ヘットの質を部分的に示す。図6と同様の分析範囲である。

【図11】書込質の池の質の濃淡相対体の地方向か

図12) 既成の蓄込電極と増幅器出力の接点方向に配した場合の配列パターンを示し、(a) は最もシノグラフィな蓄込電極の配列パターンの場合を示す図、(b) おおひ(c) はそれぞれ(a)の閉鎖点を増幅した蓄込電極の配列パターンの場合を示す図である。

方向にオーバーラップされていることを説明する図である。

A diagram showing a ball on a horizontal surface. A vertical line is drawn to the right of the ball. An arrow points upwards from the bottom of the vertical line.

を示す図である。

【図 7】 (a) なし (d) はそれぞれ第 2 装置
送電機を各々示す断形図である。

10 【図 8】 本装置の互換形は送電機の他を示す。
と同等の図である。

【図 9】 (a) なし (c) は、それぞれ送電機自

す、図17を系統の断圧図である。

〔図20〕 巻込電圧に所定電圧 V_0 および供給電圧 V を好適に設定するためのオン・オフ回数を示す図である。

〔図21〕 各種電圧の巻込電圧 V 、 V_0 とそれ以外の断圧 V_1 とを比較して、断圧 V_1 に過渡的に変動を加えた断圧 V_2 と、断圧 V_1 と断圧 V_2 の差を比較して、断圧 V_1 と断圧 V_2 の差が所定の範囲内にある場合に、断圧 V_1 と断圧 V_2 の差を断圧 V_1 と断圧 V_2 の差の範囲内に設定する。

(b) は (a) の電圧降下で正電流流したときの負係を示す図。(c) は (a) の電圧降下で正電流値と負電流値を示す図である。

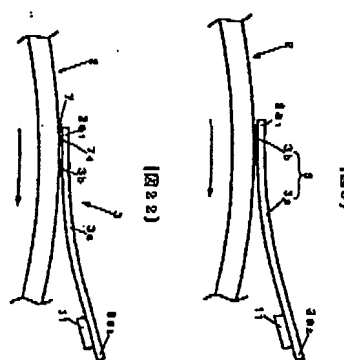
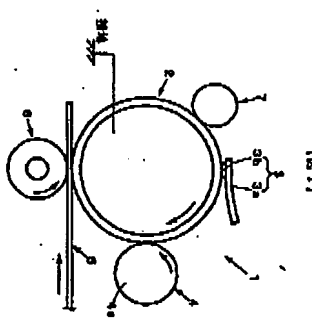
【図 2】本発明に係る負電流発生装置の構造の形態に他の別な様式例に於て別がけに示す。図 3 と同様である。

1…面取形状位置、2…樹皮粗度、3…樹皮腐爛
 辺への付、3a…基付、3b…腐乱位置、4…現
 在、5…基付、6…根腐乱、7…樹皮腐爛材一
 部の腐乱、8…受腐、9…腐敗パター、12
 小枝、13…腐乱、14、29…保腐層、28…

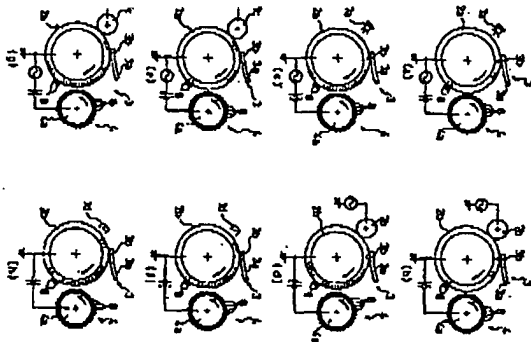
(226)



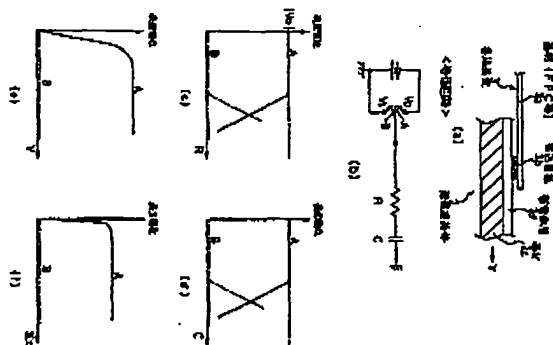
(3 2 2)



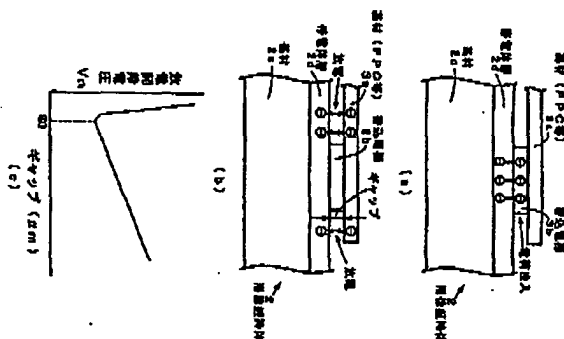
【図2】



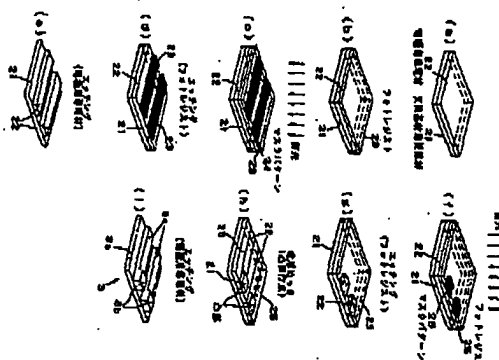
【図3】



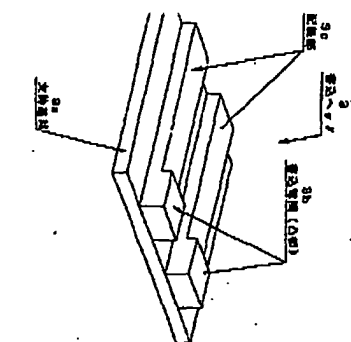
【図4】



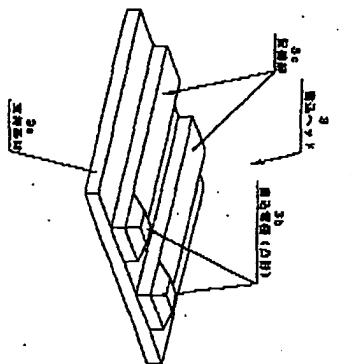
【図7】



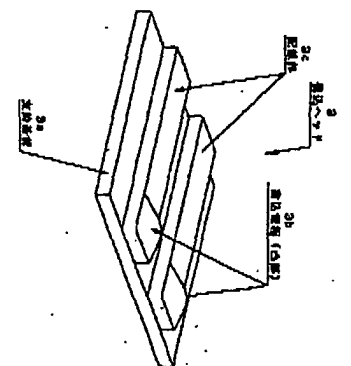
【図6】



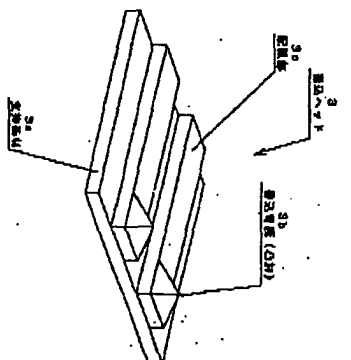
【図8】



【図9】



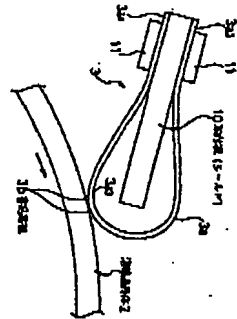
【図10】



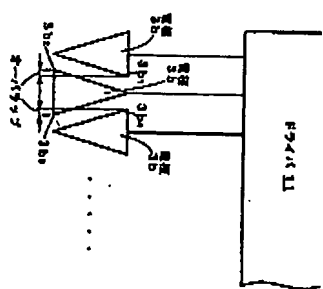
(19)

特開2002-172813

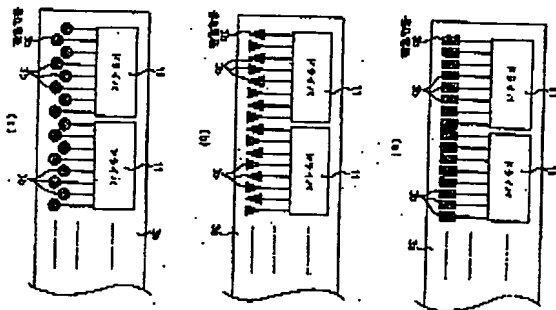
[図11]



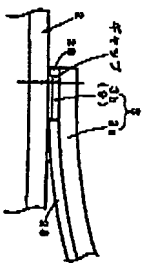
[図13]



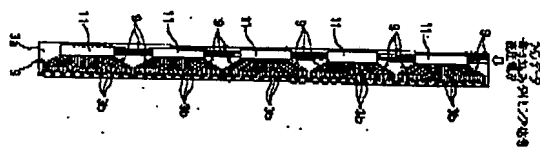
[図12]



[図18]



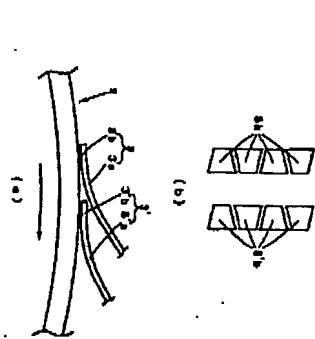
[図14]



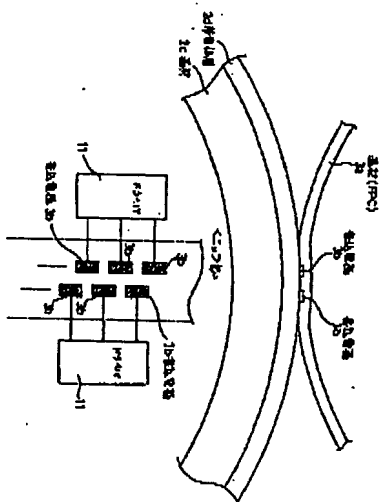
(20)

特開2002-172813

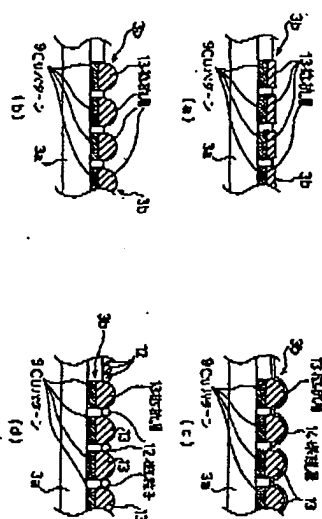
[図15]



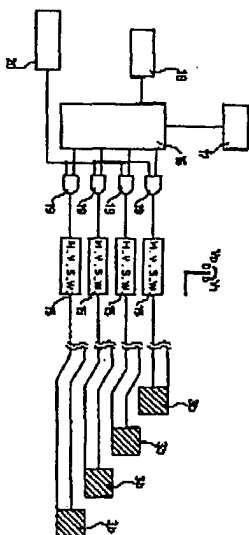
[図15]



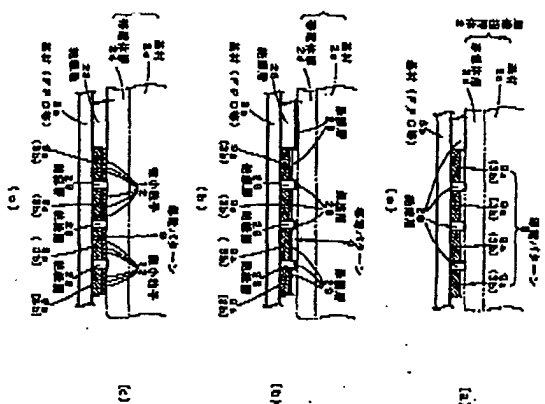
[図17]



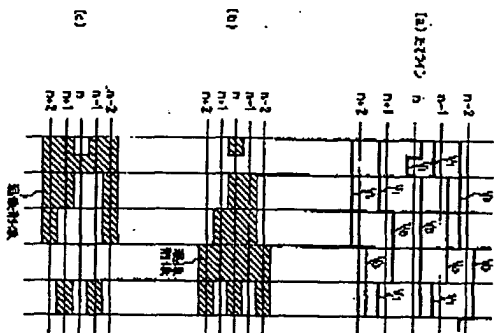
[図20]



[図19]



[図21]



フロントページの序

(31) 優先権主張番号 特開2000-300700(P2000-300700)

(72) 発明者 野村雄二

(32) 優先日 平成12年9月29日 (2000. 9. 29)

(73) 発明者 東野興産株式会社 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(33) 優先権主張国 日本 (JP)

(74) 代理人 (特許) 東京法律事務所

(75) 発明者 佐田隆雄

(76) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(77) 発明者 野村雄二

(78) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(79) 発明者 野村雄二

(80) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(81) 発明者 野村雄二

(82) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(83) 発明者 野村雄二

(84) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(85) 発明者 野村雄二

(86) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(87) 発明者 野村雄二

(88) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(89) 発明者 野村雄二

(90) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(91) 発明者 野村雄二

(92) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(93) 発明者 野村雄二

(94) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(95) 発明者 野村雄二

(96) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(97) 発明者 野村雄二

(98) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(99) 発明者 野村雄二

(100) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(101) 発明者 野村雄二

(102) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(103) 発明者 野村雄二

(104) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(105) 発明者 野村雄二

(106) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(107) 発明者 野村雄二

(108) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(109) 発明者 野村雄二

(110) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(111) 発明者 野村雄二

(112) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(113) 発明者 野村雄二

(114) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(115) 発明者 野村雄二

(116) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(117) 発明者 野村雄二

(118) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(119) 発明者 野村雄二

(120) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(121) 発明者 野村雄二

(122) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(123) 発明者 野村雄二

(124) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(125) 発明者 野村雄二

(126) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(127) 発明者 野村雄二

(128) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ

(129) 発明者 野村雄二

(130) 発明者 東京法律事務所 東京都大田区 3丁目3番5号 セイコ